

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年7月21日（火）

2 確認箇所

2号機使用済燃料プール（遠隔操作室）（図1）

3 確認項目

2号機燃料取り出し作業の状況

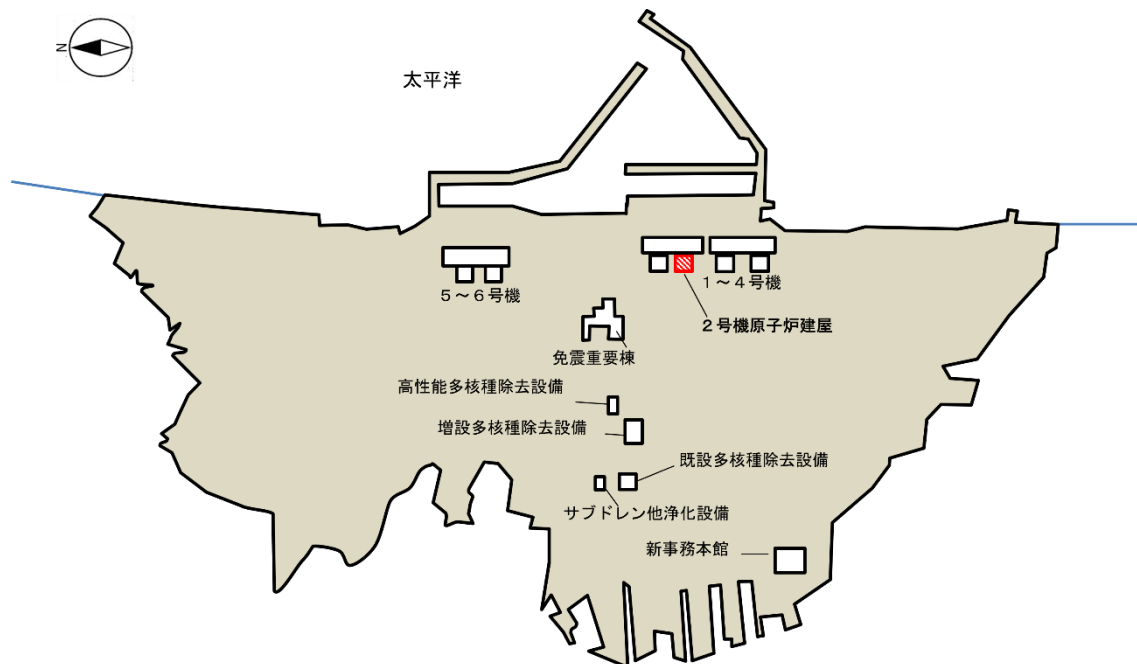
4 確認結果の概要

東京電力では、2号機使用済燃料プールに貯蔵されている615体の燃料について、令和10年度までの取り出し完了を目指し、6月2日から燃料取り出し作業が開始されており、7月17日までに21体の燃料の取り出しが完了している。

今回、新たに7体の燃料取り出し作業が行われていることから、その作業状況について確認した。（前回確認：[令和8年6月2日](#)）

- ・遠隔操作室において、使用済燃料の輸送や貯蔵に使われる専用の容器（キャスク）の使用済燃料プール内キャスクピットへの吊り下ろし作業、キャスクの蓋の取り外し作業及びキャスクへのフランジプロテクタ^{※1}の取り付け作業の3工程を確認した。（写真1、2、3）
- ・いずれの作業においても、手順書に基づき作業員間で連携を図りながら、確実に作業が進められていた。また、作業工程に応じて協力企業が切り替わる際には、東京電力の立ち会いの下、作業内容の確認が適切に行われていた。
- ・一連の作業において異常は認められず、安全に作業が進められていたことを確認した。

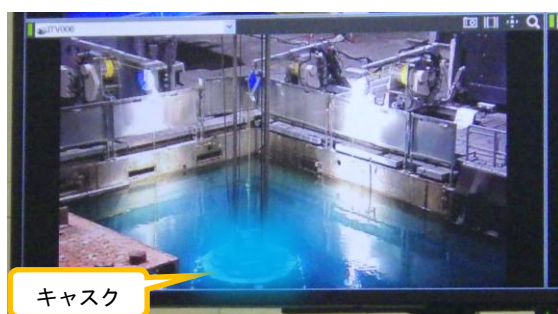
※1 フランジプロテクタ：燃料取り出し時に輸送容器のフランジ面を保護する部材。



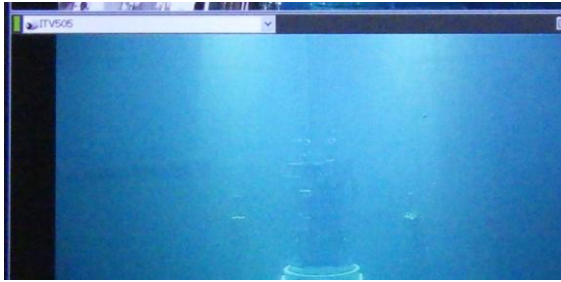
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



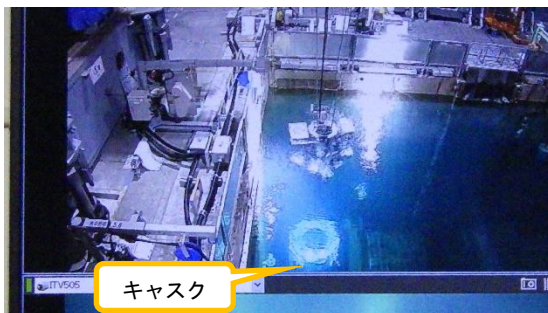
(写真1-1) キャスクのキャスクピットへの吊り下ろし作業の状況①



(写真1-2) キャスクのキャスクピットへの吊り下ろし作業の状況②



(写真 2－1) キャスク蓋の取外し作業の状況



(写真 2－2) キャスク蓋取り外し後の状況



(写真 3) フランジプロテクタの取付け状況

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。